平成２０年１月５日（土）発行

万博瀬戸ボラせんの会 報告14号

発行人　有村和人
ＵＲＬ　http://ari.web.infoseek.co.jp/volunteer/seto_expo2005.html
e-mail　seto@freeml.com
e-mail　ofunemark@asahi-net.email.ne.jp

２月９日（土）は、臨時総会（やすらぎ会館・視聴覚室　１３：３０）です。

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

さて、昨年末より万博瀬戸会場跡地の公園化構想について瀬戸市担当課と面談を２回行いました。これが急なお話でしたので、会員の皆様全てにお伝えできずに進めてまいりましたこと、お詫び申し上げます。ここに、これまでの内容をお伝えすることで、お許しいただければと存じます。そして、これからの本会の運営にご協力をお願いします。

面談内容の資料は、２つあります。今後、本会の活動で重要な問題となることが、発生しましたので、２月９日(土)午後１時集合・同１５分（開始）やすらぎ会館・視聴覚室（２Ｆ）にて臨時総会を開催します。

皆様には、万事お繰り合せの上ご出席をお願い申し上げます。

なお、今回の報告１４号は、現在の会員と本会や親睦会を退会されておられる方々にもお知らせしました。

今後、本会の動向等や活動の案内をご希望の場合、電子メールマガジン（メルマガ）配信、印刷物（お知らせ案内）配送が可能です。同封のハガキか電子メール等でお知らせください。ご不要の方は、ご連絡不要です。

また、臨時総会に備え、運営会議を１月１２日（土）午後１時集合・開始１時１５分～やすらぎ会館２０１号室にて開催します。ご都合のよろしい方は、是非、ご参加をお願いします。

来年３月末の開園に向け、本会の役割やボランティアとして、（仮称）万博瀬戸会場跡地公園に関わる活動での正念場になります。皆様のご意見と共にご支援をお願いします。

皆様のご健勝を祈念いたします。

詳しくは　ＵＲＬ　http://ari.web.infoseek.co.jp/volunteer/seto/expo_seto_program.html　をご覧ください。

【予定】（ご参加いただけるときは、準備の都合上、お知らせいただければ幸いです。）
＜運営会議＞　１月１２日（土）午後１時集合・１時１５分～４時　やすらぎ会館２０１会議室
＜臨時総会＞　２月　９日（土）午後１時集合・１時１５分～４時　やすらぎ会館　　視聴覚室。
（文責　有村和人）

【活動報告】

★ １２月１５日（土）午後１７時　忘年会
「（仮称）万博瀬戸会場跡地公園について瀬戸市担当部署との面談」予定があり、今後の対応について本会運営方針を話し合いました。

★ １２月に瀬戸市の担当者と２回面談し、公園化構想と開園後の運営に本会がどのように関われるかについて、説明を受け、意見交換しました。

【 臨時総会のご案内 】

２月９日（土）やすらぎ会館・視聴覚室（２Ｆ）
受付　午後１時

一部　臨時総会
議題　（仮称）万博瀬戸会場跡地公園の運営ボランティア活動について　その他

二部　交流会（すし処　角）マイクロバスで会場まで移動。会費 3,000 円＋酒代（希望者のみ）
活動提案等　フリートーク

総会後の二部交流会のご参加について、**当日でも参加可能**ですが、事前に人数の把握ができますとお値打ちな食事が楽しめるとのことです。

２月５日（火）午後９時頃までに「有村」へお知らせいただければ幸いです。

※各位の活動レポート＆情報等の投稿をお待ちしています。万博瀬戸ボラせんの会で共有しましょう。

天水皿についての情報です

2007年（平成19年）2月20日（火曜日）　中日新聞

瀬戸市の万博会場跡地整備

巨大皿に展望デッキ

ループ状、08年度着工

愛・地球博（愛知万博）の瀬戸会場跡地に威容を見せる、直径三十㍍の巨大皿モニュメント「天水皿（てんすいざらえぬじょう）」の前に、延長約百㍍の回廊型展望デッキが設けられる。十九日に瀬戸市が発表した整備計画では、万博会場にあったグローバル・ループ状とし、二〇〇八年度に着工。ループ下の地面はモザイクタイルで飾り、一帯には芝生広場（約千平方㍍）や花畑（約千平方㍍）も整備して、〇九年三月のオープンを目指す。（細井卓也）

計画では、同市上之山町にあるこのモニュメントをシンボルとし、県住宅供給公社の所有地約一万三千平方㍍に「瀬戸万博記念公園」（仮称）を整備する。そのデザインなどを楽しめるよう、展望デッキは約五㍍の高さにする。材質は未定。

モニュメントは万博開催に合わせて二〇〇五年二月、地元の陶磁器団体や陶芸家が中心となり完成させた。パラボラアンテナ形のコンクリート皿に、国内外の陶磁器産地から寄贈された皿や、子どもたちが絵付けした皿など約三万枚が張り付けられている。

公園整備の総事業費は約四億五千万円。瀬戸市は新年度当初予算案に用地取得と実施設計費計約二億五千万円を計上した。市は「愛知万博発祥の地である瀬戸会場の活動の記憶を後世に残す公園にしたい」としている。

展望デッキが設けられる巨大皿モニュメントなど瀬戸万博記念公園（仮称）のイメージ図

県民植樹祭 参加者募る

来月、桜65本

桜の植樹活動をしている「日本さくらの会・愛知」（鬼頭政勝会長）が、三月十一日午前九時半から長久手町熊張の愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で行う県民植樹祭に参加するボランティアを募集している。

植樹するのは、ソメイヨシノとヤマザクラ計六十五本。アベリアやシモツケなどの低木も合わせて植える。当日は琴やバイオリン演奏なども行われる。

参加費は「さくら募金」として四千円。EXPOエコマネーが5ポイントたまるほか、桜の成長記録を送付する。

同会は、モリコロパークを桜の名所にしようと陳情活動を続けており、園内の国際児童年記念館近くの「県民公園づくり空間」に県から植樹の許可を得た。

また、参加者は同日午後の豊田市八草町、三月二十一日の長久手町、日進市の三カ所で行う植樹のいずれかにも参加できる。

申し込み、問い合わせは同会事務局＝電052（775）6444、ファクス052（775）2354＝へ。

健康診断が付いた長良川温泉ツアー

岐阜市が参加者募る

長良川や金華山などの自然に触れながら、薬草風呂に入ったり薬膳（やくぜん）料理を味わって健康への関心を高めてもらおうと、岐阜市などは三月十日から二泊三日で、健康診断付きの「長良川温泉健康ツーリズム」と銘打ったツアーを開き、参加者を募集している。

岐阜大、岐阜薬科大、岐阜市立女子短大とタイアップし、参加者は初日に体脂肪や血圧測定、採血などの検査を受け、術館見学や自然散策をる。

二日目は生活習慣防や薬膳料理に関すミナーがあり、まち歩きのコースをウオング。最終日には再体脂肪や血圧測定、などを行い、ハーブったせっけんづくり験する。

宿泊は岐阜市の長畔の岐阜グランドホで、入浴は薬草風呂事は薬膳料理を予定いる。募集人数は人。応募条件は岐阜愛知県内に住む五十の男女で、一人でもできる。参加費は一千円。

岐阜市の高村義晴は「岐阜には食すく、体験する、癒やど健康にいいものがさんある。岐阜からツーリズムを発信い」と話している。

応募の受け付けは阜市のホームページで二十五日まで。問わせは岐阜市役所＝58（265）41＝へ。（村井博

街道を行く

◆188◆

器会館

名古屋市東区一帯は明治十（一八七七）年以降、瀬戸や岐阜県多治見

三二）年前後には日本から輸出される陶磁器の八割を生産していた。

昭和七年、当時の名古屋陶磁器貿易商工同業組合の事務所として建設されたのが、名古屋陶磁器会館である。スクラッチ

金賞に中部国際空港

2007愛知環境賞の授賞式

名古屋

資源循環や環境負荷の低減に取り組む企業や団体を県が表彰する「二〇

どに取り組む黒坂三和子さんと飯尾歩中日新聞社論説委員の特別対談があった。

黒坂さんは「昨年の愛知万博（愛・地球博）の成功を生かし、生物多様性条約の締約国会議を今後、県内で開催すべきだ」と話した。

献血

か）6時半—18時▽駒伊那（改良）7—18り】伊北—伊那（事故8—18時▽駒ケ根